

教育実習に 向けて

教育の意義目的について

明豊中学・高等学校

校長 小野 二生

教育の役割とは、「いかに自立した人間をつくるかどうかにある」と思います。今、子どもたちを取り巻く環境は様々な課題を生じています。大人や子どもの規範意識はどこにあるのでしょうか？こんな時代だからこそ教育の大切さが問われています。人を人として作りあげるのは教育しかないのです。



その教育を行う教員つまり、どんな先生が今必要なのでしょう？私は次の三つの条件を持つ教師が必要だと思います。

第一の条件は「子どもが好きなおことです」。何よりも子どもが好きで、子どもたちのために、何ができるかを常に考えられる人です。子どもが嫌いな人は教師にはむきません。子どもを理解することは大変なことだと思います。そのためは、「いろんな本を読んでください。」そして生徒にいろんな発問のできる知恵を身につけてください。

第二の条件は「精神的にタフなおことです」。モンスターペアレンツといわれる親の問題や説明責任が問われる学校の在り方等、教師の仕事も昔とは違った対応が求められています。だからこそストレスを感じないようにすることが必要です。

最後の第三の条件は「常に情熱を持つおことです」。生徒たちに「もっと勉強してみたい」という向上心をかき立てることが教える者のあこがれのベクトルです。「学ぶあこがれをかき立てることができる教師」はつねに学ぶ情熱を持っています。子どもから学ぶことはたくさんあります。自分が未熟であるこ

とを自覚し、その分精一杯準備し情熱を持って語りかけるときに、その未熟さがプラスとなって生徒に伝わります。そして、だまされても裏切られても子どもに寄り添う力を持つことや「だまされる勇氣とだまされない知恵をもつおこと」が必要です。

決してうまい授業をやりとうと思わないでください。うまくやりとうと思ってやった授業はつまらない授業となることもある。下手でもいいから、生徒に理解できるように必死でやった授業の方が生徒には伝わります。難しい問題を易しく教えるための勉強が大事です。また、失敗を恐れず、チャレンジする勇氣が必要です。失敗は人を大きくします。

そして教育は一人ではできません。曹洞宗の開祖である道元の「正法眼蔵」に「霧の中を歩めば、覚えざるに衣湿る」とあります。これは仲間がいて、その雰囲気知らず知らずのうちに染まって行くのだ。ということです。多くの仲間と議論をし、勉強することが大事だと思います。

教育とは、夢を語るおこと。夢を描くおことを教えるおことが教師の仕事だと思います。

最後に、「DREAM CAN DO、REALITY CAN DO」というNASAの門に書いている言葉を贈ります。

「夢を思い描けば、必ず 現実にできる」

まず子どもありき

別府市教育委員会学校教育課

指導主事 松丸 真治

私が新採用で赴任した学校で出会った先輩教師から教わった言葉でした。初めは何となく耳に残る言葉でしたが、時が経つにつれて教師としての立ち位置を決定づける言葉となりました。



それは、教職について12年経ったある日、受け持った子どもに久しぶりに出会った時のことです。ちょうど、校長先生がおられたので「私の教え

子ですが」と紹介した際に、「教え子かえ。教えられた子じゃないかえ。」と言われました。その時に、教職12年経った私の驕りの言葉としての「教え子」であったなあと反省させられました。同時に、「まず子どもありき」という言葉を鮮明に思い出しました。それは、授業の組み立てにおいて、まず子どもの実態から探り、教材の出会い方や指導計画に至るまで、子どもが本気で考えることができるかという視点に立って作成していたからです。また、授業後は、子どもは自分の想定していたように動いたのか、それとも計画外のところから課題に迫ろうとしたのかと、授業記録をもとに先輩教師からアドバイスをもらい、計画の修正を行うことで子どもの思考が途切れないように考えていたからです。子どもの実態を学ぶこと、つまり子どもから教えられていたことを思い出させてくれました。子どもに対して指導していく中で、その指導の結果は子どもの表情や言動、そして行動に表れてきます。まさしく教師の鏡として、子どもは教師自身を映し出してくれます。その繰り返しの中で見えてきたことが私の心に刻まれ、指導していく上でのコツとして身につけてきたのではないかと考えております。

さて、皆さん。短い教育実習期間中に学べることは限られています。しかし、子どもとの出会い、先輩教師との出会いが、その後の教師の生き方を左右すると言っても過言ではないと思います。せっかく教育実習を体験するのであれば、例えば、子どもたちと出会って何を見取るよう心がけるのか考えてみてください。また、先輩教師と出会い何を見取り聴きとっていくのか想像してみてください。より多くの事実を見取り、事実と事実をつなぎ合わせて子ども像や先輩教師像をはっきりさせることも、価値あるものになると思います。

最後になりましたが、教職への道を選ばれた皆さん、いつの日にか現場でお会いできることを楽しみにしております。その時は、教師の膨大な知識の中から子どもとの接点を探し出す苦労、指導計画が思い通りに行った時の爽快感や反対に行かなかった時の悔しさなど、子どもの姿で語りあえたらと心から願っております。

教育実習の実際

明豊高等学校

元教頭 山添 博司

(1) 教育実習に行く前に

「教職への道」に掲載しています、教育実習事前の諸注意や、教育実習の報告をよく読んで、指導教師との関係や生徒との接し方など、しっかり把握しておいて下さい。また、模擬授業には積極的に参加し、経験を積んで下さい。



(2) 実習校でのオリエンテーション

実習校が決定したら、できれば前もって訪問し、担当の教師に学校の内容などを説明してもらうことは、大切なことだと思います。(母校であっても在学中とは、変わっている場合があります。)

オリエンテーションでは、まず教育実習の心得が説明されます。その内容は、①実習校の教育の概要について理解、②教育実習の目標・内容の理解、③教育者であると同時に被教育者としての自覚、④実習校の勤務条件を理解し勤務するという自覚、などです。実習が始まったその日から皆さんは教師だという自覚を十分持って下さい。

次に教育実習の指導方針、実習計画、日課時刻と授業時間、担当クラスと指導教師、施設・教室配置、実習初日の日程などについて説明され、指導教師とクラス担当教師との打ち合わせがあります。不明な点がありましたら質問し確認するように。また、オリエンテーション当日に持参する書類や印鑑など、忘れないよう前もって点検しておいて下さい。

(3) 教育実習の内容

- (イ) 導入過程…実習の前半はいろいろな教育活動についてしっかりと観察・参加して下さい。まず、授業では自分の教科だけではなく、他の教科の授業も、積極的に指導教師を通して見学さ

せてもらい、指導内容、板書、質問内容、生徒の活動など、常に自分が教壇に立つときを考え参考にするように。またホームルームや部活では生徒との信頼関係をしっかりと築くことが大切です。(生徒の名前はしっかり覚えて下さい。)

(ロ) 実習過程…実習の後半はいよいよ実際に教壇に立って授業を行います。指導案を作成し、教材研究を十分にすることは勿論ですが、いかに生徒が集中し、理解し、達成感をもつ授業ができるかが、大事ではないかと思えます。そのために導入・展開・まとめの内容、使用する資料などの工夫が必要です。また、この期間、他の実習生の授業もできるだけ多く見学してください。次に授業での間違いは、早急に誠実に訂正すること。人間だれでも間違いはあります。ただそれをそのままにしないように。

また、授業時間は守って下さい。チャイムの鳴った後の授業は集中出来ません。

(ハ) 整理反省過程…実習生は、研究(公開)授業を行います。指導教師、大学の教員、教科の教師、他の実習生など多くの人達に、授業を見てもらい、その後、反省会があります。いろいろな意見が出ると思いますが、一つ一つ真摯に受け止め、今後に生かして下さい。また、他の実習生の反省会では、遠慮せずに、お互いの向上のために率直な意見を述べて下さい。

なお、研究授業の指導案は、前日の朝までに提出して下さい。

(4) その他

(イ) 守秘義務・個人情報保護について

実習で得た学校、生徒に関するすべての情報について口外したり、実習後に個人的に連絡を取って、生徒と会ったりするようなことは絶対にしない。

(ロ) 欠勤、遅刻、早退、外出などは、必ず実習校に連絡を取る。

(ハ) 「実習ノート」はその日の内に、指導教官に提出する。

(ニ) 実習生の控室は常に清潔にし、最後に出る人

は、消灯、施錠を忘れないように心掛ける。

以上、明豊中学・高等学校の教育実習に関する資料を中心に述べました。教師の仕事は大変だと思いますが、やり甲斐のある仕事です。

皆さんが教壇に立ち、生徒に囲まれる日を心から願っています。

置かれた場所でできることを

別府市教育委員会学校教育課

指導主事 武井 真由美

講義を聴く皆さんのすっと伸びた背筋とまっすぐな視線から、教育実習に向けての真摯な思いや意欲を感じました。心地よい緊張感と受容の空気の中でお話させていただきましたことを感謝しています。



さて、講義の中で私が教育実習中に指導教官から言われた胸に痛い一言を紹介しました。「パイを与えていますか。」という問いかけ。それは、実習で大切なことは、教師として必要な知識や技能を体験を通して学ぶことだと考えていた私に対して、あなたは目の前にいる子どもたちのために何ができるのかと突きつけられたものでした。はっとさせられました。子どもたちにとって、教育実習生は「先生」です。短い期間ではありますが、子どもたちとしっかり向き合い、子どもたちの成長ために自分にできることを惜しみなくやり続けることが求められます。

では、「できること」とは何でしょう。その一つが授業です。学ぶ喜びを味わえる授業で子どもたちは成長します。実習当初、私は指導案通りに授業をすることにこだわり、子どもから答えを引き出す強引な授業をしてしまいました。一見スムーズに展開するのですが、子どもたちは「生き生き」しません。子どもたちが「なぜ?」「なるほど」「もっと考えたい」と本気で取り組む授業にするにはどうしたらよい

のか。これは、実習期間中はもちろん、教職についてからも常に考え、取り組んできたことです。

今回の講義では、失敗や反省も含めた自分自身の経験を基に「子どもが生き生きする授業のポイント」を紹介しました。①つけたい力をはっきりさせる ②様々な角度からの子ども理解 ③教材の提示の仕方や課題の工夫 ④明確で分かりやすい発問や指示 ⑤板書やノートの工夫 ⑥目的を持った話し合い活動 ⑦次時の学習に生かす授業の振り返りと評価等は、授業をするにあたって自分自身が心がけていることです。限られた時間で十分に伝えられなかったこともあると思いますが、これからの授業実践のヒントになれば幸いです。

学校は、様々な個性や考え方をを持った人たちの集まりです。だからこそ面白いのですが、時としてすれ違ったりぶつかり合ったりして思うようにいかず、落ち込んだりやる気を失ったりすることもあります。そんな時は、投げ出さず、置かれた場所に根を張って自分にできることをやり続けてください。きっとあたたかくて力強い花が咲くことでしょう。子どもたちも周りの人もそんな皆さんをちゃんと見えています。皆さんにとっても子どもたちにとっても実り多い実習となることを願い、エールを送ります。

教職をめざして

大分県教育庁高校教育課

課長 高畑 一郎

はじめに

教育論は最後は教師論に達する、と言われます。また、教育の質は教師の質を超えられない、という言葉もあります。それほど、教育の成否は教師の在り方、その資質・能力にかかっているのです。では、めざすべき教師像をどう考えるのか。以下、この点について私見を述べてみます。



1 情熱と使命感、生徒への愛情

「あんたがやるんだよ。子どもたちに迷惑かけられるのが教師の仕事でしょ。それとも教師が楽しめるような手のかからない人間をつくるのが学校教育とでも思っているの。」山田洋次監督の映画『学校Ⅱ』に登場する西田敏行扮するリュウ先生の言葉です。

教師の仕事に対する深い自覚や使命感を感じさせます。決して楽な仕事ではないけれど、それをしっかりと引き受けて、どこまでも生徒に愛情を注ぐ。これらは、教師の仕事の根底になければならないものです。

2 教育の専門家としての高い力量

「教師は授業で勝負する」という言葉があるように、学校教育の中核は日々の授業です。そこが揺らぐようであってはなりません。一人一人の生徒にとって魅力のある授業を構築できる授業力が必要です。

教えるべき内容をしっかり教えることはもちろん大切です。ただ、それが教師主導の一方的なものでなく、生徒にとって学びのある授業でありたいものです。生徒に問いを持たせ、自ら考えさせ、そして気づきと発見に至る過程をたどらせる、そんな授業が実践できる力量が求められます。

3 総合的な人間力

もとより教師には豊かな人間性が求められます。生徒はもちろん保護者や地域の人々など、教師の仕事は人間関係の中で成立しています。その中で発揮されるべきコミュニケーション力や対人関係能力、社会性・規範意識などの人格的資質は、教育活動を円滑に進めていく上でとても大事なものです。

4 学び続け課題に立ち向かう

今、学校教育は様々な教育課題を抱えています。教師が困難な課題に直面する場面も少なくありません。その際、その課題に真摯に向き合い、取り組む姿勢があるかどうかが問われます。

自ら学び続け自らを成長させることができる、そ

んな意欲と謙虚さを持つ教師こそが生徒を伸ばし育てる存在なのだと思います。同時に、学校組織の一員として解決に向けて考え行動する姿勢も求められています。

おわりに

どんな生徒でも、教師が適切な指導を行えば伸びていく、そんな可能性をもつ存在として生徒をとらえることが大事と考えます。生徒の成長や喜びを自らの喜びとする教師、生徒の悲しみを我がことのように受けとめられる教師でありたいものです。そこに教師の仕事の素晴らしさがあることに確信をもってほしいと思います。

今後とも、皆さんは教職をめざし日々奮闘されることでしょう。どうか頑張ってください。期待しています。